



報道関係各位

街に、ルネッサンス



UR都市機構

令和4(2022)年4月27日

さいたま市

独立行政法人都市再生機構

東日本都市再生本部

## さいたま市とUR都市機構 まちづくりに係る包括的な連携に関する協定を締結

さいたま市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、さいたま市が目指す東日本を連結する対流拠点の形成等に向けて、より一層の魅力と活力ある安全・安心なまちづくりに取り組むことを目的として、令和4年4月26日に相互に連携を図る「さいたま市と独立行政法人都市再生機構との連携に関する協定書」を締結しましたのでお知らせいたします。



写真右より

清水 勇人 さいたま市長

中山 靖史 UR都市機構

東日本都市再生本部長

### （お問い合わせ先）

さいたま市

都市局 都心整備部 東日本交流拠点整備課 （電話）048-646-3281

UR都市機構

東日本都市再生本部 事業企画部事業企画第1課 （電話）03-5323-0598

東日本都市再生本部 総務部総務課 （電話）03-5323-0625

## 1. 協定締結の経緯

- ・さいたま市は、東日本を連結する対流拠点の形成等に向けて各種施策・事業に取り組んでいます。
- ・また、大宮駅周辺では、駅前広場に隣接する街区のまちづくり、駅前広場を中心とした交通基盤整備、乗換改善等を含めた駅機能の更なる高度化を三位一体で推進する「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」を進めています。
- ・UR都市機構は、まちが抱える課題を解決するため、半世紀以上に渡って培ってきた豊富な事業経験やノウハウと公平性・中立性を生かし、民間事業者や地方公共団体、地域の皆様と連携して、政策的意義の高い都市再生を推進しています。その中でさいたま市内においては、さいたま新都心地区（H3～14）、武蔵浦和駅第6街区（H8～12）、武蔵浦和駅第1街区（H20～28）、北袋一丁目地区（H26～29）、みそのウィングシティ（H12～R3）、UR賃貸住宅などにおいて、市と連携したまちづくりを推進してきました。
- ・本協定締結により、市内でのまちづくりの経験を持ち、全国まちづくりやコーディネートの実績があるUR都市機構と、さいたま市とが相互に連携・協力し、より一層の魅力と活力ある安全・安心なまちづくりに取り組んでまいります。

## 2. 締結者

- ・さいたま市長 清水 勇人
- ・UR都市機構 東日本都市再生本部長 中山 靖史

## 3. 連携事項

- (1) 大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進に関すること
- (2) (1) のほかさいたま市の拠点となるまちづくりの検討に関すること
- (3) まちの活性化の推進に関すること
- (4) 事前防災など安心・安全なまちづくりに関すること
- (5) (1) ～ (4) に掲げるもののほか、さいたま市及びUR都市機構が必要と認める事項に関すること

以 上